

私たちが生活の中で工夫していること 【岡谷市消費者の会】



- 食材は必要なだけ買う。賞味期限の近い物を買う、食品ロスを減らす。
- 大きな野菜は使い道に合わせて切っておく。
- 旬な物、地産の商品を選ぶ。



- 家電を買う時は、省エネのものを選ぶ。
- 照明はLEDにする。
- 玄関、廊下の照明は人感センサー付きのライトにする。
- スイッチ付きのコンセントを使って待機電力を減らす。



- 植物の水やりに雨水タンクや米のとぎ汁を使う。
- ゆで汁を雑草にかけると枯れる。
- 汚れのひどい皿やフライパンはボロ布で拭いてから洗う。



- 硬い材料は電子レンジで一度加熱してから煮る。
- 圧力鍋や二重構造鍋を使って短時間料理で省エネ。

- 料理は食べきる。
- 生ごみはコンポストに入れて畑に返す。



- エコドライブで急発進、急停止はしない。
- ハイブリット車・EV車に乗る。
- 車を使わず、出来るだけ自転車、徒歩で外出する。
- 買い物や用事はまとめて計画的に外出することで、無駄なガソリンを使わない。



我が家のやり方を見つけてみようかしら…

わたしたちが感じた事

- CO₂を減らすことは、家庭でもたくさん出来る事がある。
- 環境のためによいと思ってやってきたことが、『ゼロカーボン』にもつながっていた。
- 化石燃料だけでなく、電気や水の節約も『ゼロカーボン』につながっている。
- 自分の生活スタイル、働き方をふりかえることが出来た。
- 庭に植物を植えて育てたり、里山活動、森林の保全にも力を入れていかなければと思った。



たくさんの人がやれることから始めて、やれることを増やしていけば、ちょっとした『ずく』が、地球を守る力になるかもしれないと感じたわ。



ちょっと分ける
ちょっと工夫する
出来るかもしれないわ

問い合わせ先：岡谷市環境課 0266-23-4811（内線 1445・1446）

2050 ゼロカーボン達成に向けて

～ 電力消費の多い家電の使い方と 省エネ家電への買い換えについて ～

国は2030年までに家庭部門の二酸化炭素排出量を2013年度比で66%削減することを目標としています。目標を達成するためには、私たち一人ひとりが地球温暖化対策に取り組むことが重要です。まずは、自分たちにできる取り組みを始めてみませんか。



2022年10月
岡谷市・岡谷市消費者の会